



3月5日、仙台市内において国労東北総決起集会在が開催され、390人の国労東北の仲間が結集しました。

主催者を代表し、東日本本部高野委員長と東北協議会を代表し齋藤議長がそれぞれあいさつを行い、春闘情勢と会社の動向、国労の取組み、13春闘勝利と諸課題の前進、

3月5日
国労東北
総決起集会

13春闘を巡る状況、とりわけ新賃金については3月13日、電機や自動車などの主要企業が、一斉に労働組合に回答する「集中回答日」を迎えました。JRにおいても東日本が15日、貨物が18日にそれぞれベアゼロを回答。一方、夏季手当では東日本が2、85カ月(対前年0、3カ月分増)を回答しました。今号は、春闘期に取り組まれた各集会の報告としました。

集会后に参加者は4ブロックに分かれ仙台市内をデモ行進。賃上げを始めとした労働条件の改善や安全問題などの国労要求をシュプレヒコールで市民にアピールしました。(仙台発)

集会は、盛岡地本小林副委員長、秋田地本後藤書記長、仙台地本歌川副委員長及び東北貨物協議会大越議長からそれぞれ力強い決意表明を受け、東北協議会渡辺副議長の閉会のあいさつ後、齋藤議長の団結頑張ろうで締められました。

そして闘いを通じて新しい仲間を国労に迎え入れる決意を固め合おうと訴えました。

震災・原発事故
3月9日 から2年
つながろうフクシマ!
さようなら原発大集会



署名の集約状況は820万。また、国内外19か所で「脱原発・反原発」を訴える集会在が同時に行われていることを報告し、「原発をなくそう」「子供たちを守ろう」とデモ行進で訴えました。

東日本大震災・東京電力福島第1原発事故から2周年を前に、3月9日、東京・明治公園で「さようなら原発1千万署名市民の会」主催で、「つながろうフクシマ! さようなら原発大集会」が開かれ、全国から1万5千人が参加しました。

呼びかけ人の一人であるルポライターの鎌田さんは「人間の生命よりも経済が大事という政治家は認めない! 脱原発の運動を進めよう!」と、強調しました。

国労本部主催
2013年
春闘勝利
総決起集会



集会后には、賃金の引き上げや労働条件改善を始めとした国労要求を強く訴えながら、新宿まで1時間余りのデモ行進を行いました。

3月12日、東京・日本青年館において、国労本部主催の「2013年春闘勝利総決起集会在」が開かれました。

東日本本部からは高野委員長が決意表明を行い、「要求獲得に向けて全力をあげたい」と春闘の取り組みに向けての強い姿勢を表しました。

関東交運労協
2013春闘勝利
決起集会在



集会は、元呑議長(東武労組)の挨拶に始まり、各産別代表と三役を選出している労組代表が決意表明、国労からは東日本本部・吉田特執が発言、最後に「集会宣言」を確立し、関東における交通運輸産業労働者が共に闘う決意を固め合いました。

2月27日、東京・田町交通ビルにて「関東交運労協2013春闘勝利決起集会在」が開催されました。

国労東日本

(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 736 定価 20円
2013年 3月29日

職場労働条件
改善アンケート調査
実施中

<http://www.e-nru.com>
携帯用ホームページはこちらのQRコードから

日本労働弁護団主催 3月1日
「活かそう!改正労働契約法!!」
集会で
＜東京地本＞
中嶋健太青年部長が発言!



東京地本
中嶋健太
青年部長の
発言要旨



国鉄労働組合東京地方本部で青年部長をしていいます、中嶋健太です。

私は、人生で一度は切符を売ってみたい、鉄道業に携わりたいという希望で、2008年4月にグリーンスタッフとしてJR東日本に入社しました。業務内容は、みどりの窓口、改札、券売機の保守といった業務を担当していました。2010年8月に正社員試験を受験し、合格、2011年4月に正社員の車掌研修を経て、現在山手線の車掌を担当しています。

グリーンスタッフであった2009年12月に、当時の職場の先輩の勧めと自分の意志で国鉄労働組合に入りました。

現在、グリーンスタッフの国労組合員は3名で、交流や学習する機会を持ちながら、ともに課題の解決を目指しています。

JR東日本では、契約社

員はグリーンスタッフ制度を2007年より導入し、出札、改札、案内といった駅業務、旅行業(びゅうプラザ)のいずれかの業務に従事しています。契約期間は1年で、1年間の勤務状況に基づき、最大4回まで更新できることになっており、最長5年の契約で、5年を超える更新はできません。採用試験は年2回実施され、各期400名程度が採用されています。入社後すぐに研修センターで約1カ月間の研修を受け、その後職場に配属になり、約2カ月間の見習い業務終了後、正社員と同様の業務に就くこととなります。入社3年目より、グリーンスタッフを対象とした正社員採用試験を受験することができます。ただし、満37歳以下が対象となります。

社員と同様で、制服も全く同じです。また、グリーンスタッフ社員でも、2年目以降は正社員の新規採用者の育成・指導にもあたることがあります。首都圏の職場では、3分の1から半数がグリーンスタッフで占められています。業務内容は同じでも、年次有給休暇や福利厚生、正社員の期末手当の代わりに精勤手当となるなど、格差が生じています。

正社員採用試験についてですが、正社員を希望する人が受験するわけですが、2012年度の実績では、合格者約230名と、受験者の2〜3割の合格率です。正社員採用試験は年1回で、最高で3回受験できます。多くのグリーンスタッフは、正社員になることを希望していますが、合格率は低く、契約期間満了に伴い、退職を余儀なくされるグリーンスタッフは後を絶ちません。2012年3月には、約130名が契約期間満了で雇止めになりました。

最後に、とても壁が高い現実がありますが、今回の改正労働契約法を活用して、グリーンスタッフ制度の改善に向け、取り組んでいきたいと思えます。そのためにも、要求実現に必要な多くの仲間と手を合わせたいと思えます。

て、グループ会社の駅部門の業務がありますが、今までと同様の業務であるにもかかわらず、基本賃金、休日・休暇、福利厚生といった待遇については、著しく低下するのが実態です。

国労の取り組みですが、2010年度の制度改善要求の申し入れで、「契約社員の正社員化」、「現行の社会人制度とは別に、勤続1年以上の業務経験を有する契約社員については、優先的にJR東日本の正社員として採用する新たなルールを確立すること」を求めました。JR東日本の回答は、正社員化についての問題意識は持ちつつも、有

期雇用としての柔軟な雇用形態は今後も維持していく考えであり、正社員化については引き続き試験を受けて正社員になってもらう考えである、と回答しています。

東京地本では、グリーンスタッフを抱える問題点を把握しながら、勤務や

3月1日、日本労働弁護団主催の「活かそう!改正労働契約法!!」集会が旧総評会館(連合会館)で開催されました。

「活かそう!改正労働契約法!!」集会は、「労働契約法の一部を改正する法律」(2012年8月10日公布)のうち、無期労働契約への転換ルールと、不合理な労働条件の禁止ルールが4月1日から施行されることに伴い、これらを活用して有期契約労働者の労働条件を是正させる取り組みに活かしていく目的で開催されました。

集会では日本労働弁護団

の水口(みなぐち)幹事長から、有期契約労働者の実態、改正労働契約法の内容と活用術、労働組合の取り組みの必要性などについて講演を受けた後、有期契約労働者を組織している9つの労働組合から、実態と取り組みが報告されました。

国労からは、東京地本の中嶋健太青年部長がグリーンスタッフの実態と国労の取り組みについて報告しました。

改正労働契約法の活用によつて、有期契約労働者の労働条件改善の展望が広がることを実感できる有意義な集会でした。

最新のがん治療に合わせて進化したアフラックの新しい「がん保険」です。



生きるためのがん保険 Days

「生きる」を創る。
Affac
 アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
 東京第三法人営業部
 〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
 Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036
 〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F
 資料請求いただいたお客様の個人情報利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
 ©詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF007-2011-0293 6月22日